

扉は堅く……

処理委の動きを廊下の窓からじっと見つめる報道陣



浮池^{水俣}市長、汗みどろ

大詰めの調停役

肩に重責、苦悩の奔走

水俣病補償

怒ったぞ！

動く地元

きょう抗議スト

新日室
労組

市民会議も座込み・デモ

チツソ水俣の新日労組（福田事務局長、七百五十二人）は、二十六日夕、二十七日午後四時から八時間の全面ストライキ突入の指令を出した。

水俣病補償をめぐる会社と抗
議するストライキで、労組側は

「会社は水俣病患者、家族に完全な補償をすること、またその責任を明らかにすることなどの私たち

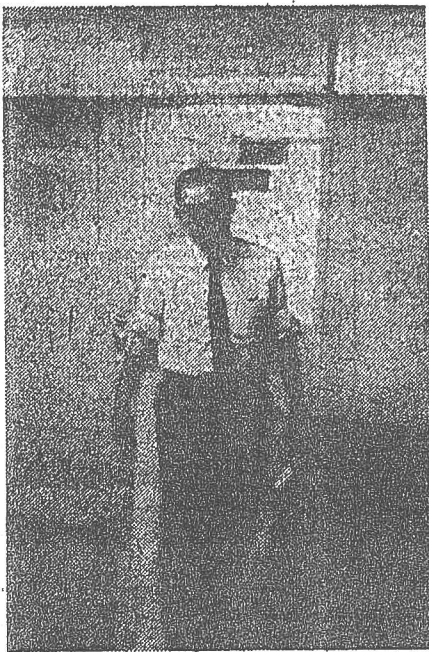
の要求を拒否している」としてい

◇

水俣病対策市民会議（日吉ノミ

コ会）は、二十七日午前十時から水俣病患者の位ハイと遺影を置
らチツソ水俣工場前でチツソ
に抗議するすわり込みをしたあと
午後四時半から同所で、死し」がの方がおそかったことをわび、

会社に水俣病の責任をとるよう要
求する」もので、同時刻にストラ
イキを予定している新日労組も
これに合流し、午後六時から約一
千人が市中デモ行進をする。



日曜の処理委控え室とち曜の患者控え室
を往復して大富岡の浮池水保市長

離航した水保納の補償あつせんが、第二の購得者として登場し、一時金の増額をめぐる患者側内部に意見の対立が起つた

このため浮池市長は、また患者

め、同市長は処理委員長のお株を奪つてその購得に奔走した。「あつせん上作は、一時金の増額にしろられてきた。患者側にはいろんな立場の人がいるので、今後は浮池市長と松田水保市議員に交渉願になつてもいい、話し合いを進めます」一午後三時五十分、千種処理委員長の前着発見、それから浮池市長の「出番」だつた。

浮池市長は松田議員とともに患者側控え室で十三人と約二時間にわたつて話し合い、ここで死者一階金百万円、生存者一時金倍額の増額要求が出た。二人はこれを持つて八階の処理委控え室へ、とてが処理委は「生存者一時金は、年金を払つたうえでのこと。増額要求なら死に者一時金に限つてほしい」との趣向を伝え、再考を要望した。

側控え室に逆戻り。途中記者団にかまつたが、かねての気さくな人柄に似ず、なにを聞かれてもうわのソラ、その責任の重さに耐えているようすだつた。

処理委の意向が患者側に知らされたのか、市長が控え室に入つてから、とたんに内部が騒がしくなつた。「もしも死に者だけの増額なら、生存者家族には補つてから何というのだ」という声も出たらしい。開議の意味のかん高い声が廊下にもまで聞えてくる。これを市長がしきりになだめているようす。同市長は、その後も何回か八階と五階の間を往復したが、患者の代理人という立場と仲介者のふたつの使命をになつて、明らかに苦惱の色をみせていた。

石牟礼さんら 12人も応援に

離航している水保納補償交渉を支援するため、水保納を売却する会の石牟礼卓三さんら十二人が、二十七日午前零時すぎに厚生省前にかつてつた。石牟礼さんは「患者さんたちが限られているので、激励のためやつてきました」と言ひ、マイクで各階の五階に向かい「みなさん、がんばってください」と泣きながら何度も呼びかけていた。

「原案について、死に者一時金だけなら検討してもよい」といふ。あとは市長さんらに内部調整いかんにかかっています——

(東京支社)